ユーザーズマニュアル
Ver. 3.0J

iAUDIO 5

BBE Mach3Bass MP3 DIGITAL AUDIO Ogg vorbis Windows Media Mac OS JetAudio

一般

- iAUDIOはCOWON SYSTEMS, Inc.の登録商標です。
- 本製品は家庭用で、営業目的で利用することはできません。
- 本マニュアルはCOWON SYSTEMS, Inc.が全ての著作権を所有しており、本マニュアルの1部分または全部を無断で配布することは許可していません。
- JetShell、JetAudioのMP3変換機能を利用して生産したMP3ファイルは、個人的用途ではない商業的目的やサービスのために使用することはできず、これに違反した場合は各国の著作権法に抵触します。
- COWON SYSTEMS, Inc.は音盤/ビデオ/ゲ ーム関連法令を遵守しています。これ以外の一切の成文化された関係法令を遵守することは、実際のユーザーの責任です。
- 製品をお買い求めになったユーザーが特化されたiAUDIOだけのサービスの提供を受けるためには、www.cowonjapan.com にてオンラインユーザー登録をすることをお勧めします。
  技術サポート、修理、アップデート情報など正式ユーザー登録を済ませたユーザーにのみ提供される各種の特化された特典を受けることができます。
- 本マニュアルに記載された各種設定/使用方法及び図表、写真は、製品の改善等によって予告なく変更されることがあります。

BBE関連

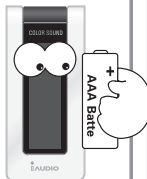
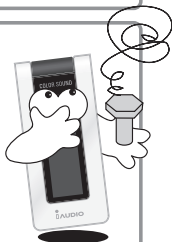
- BBE Sound,Inc.のライセンスによって生産されます。
- USP4638258、5510752及び5736897に基づいて、BBE Sound,Incがライセンス権を保有しています。
- BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound,Incの登録商標です。

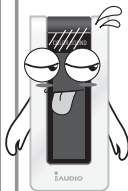
iAUDIO 5

製品取扱時の注意事項

ユーザーズマニュアルに記載されている内容以外の他の目的で製品を使用しないでください。

製品包装箱、ユーザーズマニュアル、付属品をさわって手を怪我しないようにご注意ください。

本製品は1.2 ～ 1.5Vの乾電池を利用します。ご利用時は定格単4乾電池をご使用願います。乾電池の交換時には必ず＋極と－極を正しくセットしてください。液漏れした乾電池は再使用を禁じます。

機器を任意に分解または改造すると無償サービスは受けられず、サービス範囲から外されることがあります。

USBケーブルをパソコン及び機器に挿入する時は、方向にご注意ください。
USBケーブルを逆に挿入すると、パソコンが故障したり、機器が破損する危険性があります。
USB接続ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルの上に重い物が載った状態で利用しないでください。

ご使用中に機器が焦げる臭いがしたり高熱が発生する場合は、乾電池を取り外してから、コウォンジャパンサポートセンターにお問い合わせください。

濡れた手で機器にふれると誤動作することがあります。

機器を水中に落としたり、湿気のあるところに長時間保管しないでください。浸水によるアフターサービスに分類されて無償サービスを受けることができません。また有償でも修理できないか、製品が全く使えなくなることもあります。

製品が動作している最中に乾電池を取り外さないでください。故障やデータ損失の恐れがあります。必ず製品の電源を切った状態で乾電池を取り外してください。

ボリュームをあげた状態で長時間聞くと、聴覚に問題が生じることもあります。

製品ご使用の際、静電気の発生が激しいところでは、誤動作を起こすことがありますのでご注意願います。

重要なファイルは常にバックアップしておいてください。本体のアフターサービス時、機器内に保存されている全てのデータが削除されてしまうことがあります。サービスセンターでは機器内に保存されているファイルをバックアップいたしません。アフターサービス入庫製品のデータ消失に関して当社では一切責任を負いませんのでご了承ください。

1. iAUDIO

iAUDIOとは?	*8*
パッケージの構成品	*10*
機能	*11*
仕様	*12*
各部の名称	*13*
乾電池の入れ方/USB接続の仕方	*14*
LCD表示パネルの説明	*15*
基本的な操作方法	*16*
モード別の基本操作	*18*
メニュー別、機能の詳細説明	*24*
用語説明	*38*
故障診断	*39*
ボタンの操作方法	*41*
メニュー一覧表	*45*

2. JetShell

JetShell(ジェットシェル)とは?	*46*
iAUDIOの接続とJetShellのセットアップ	*47*
JetShellの構成	*52*
スペクトラム画面及びサウンドエフェクト	*55*
MP3ファイルをiAUDIOに転送する	*56*
iAUDIO内のファイルを削除する	*58*
フラッシュメモリを初期化するには(フォーマット)	*59*

オーディオCDトラックをMP3ファイル変換と同時にiAUDIOに直接転送する 60
その他の機能 63
JetAudio（ジェットオーディオ）のセットアップと使用 66

ファームウェアのアップグレードについて 67

保証規定 75

iAUDIOとは?
(株)コウォンシステムで製造生産するMP3プレイヤー固有のブランドで、MP3ファイルの他多数のマルチメディア音声ファイルを再生する機能、FMラジオ聴取/録音機能、内蔵マイクまたはラインイン入力端子を通じたボイスレコーディングおよびダイレクトエンコーディング機能をサポートする超小型ポータブルデジタル音響機器です。

手軽に携帯できる洗練された感覚の軽量・コンパクトデザイン
iAUDIO 5は軽量・コンパクトデザインで、携帯が手軽で、高品質の外装で美しいデザインと共に優れた耐久性を誇っています。

単4アルカリ乾電池1個で最大20時間連続再生
超節電回路を使用して長時間再生でき、単4アルカリ乾電池1個で最大20時間連続再生が可能です。(COWON社のテスト環境基準)

高品質ボイスレコーディング(音声録音)
高品質の内蔵マイクによって、専門のボイスレコーダレベルの音声録音(ボイスレコーディング)が可能です。この機能を利用して重要な会議や講義の内容を録音することができ、こうして録音されたファイルはパソコンに保存しておいて、いつでも必要な時に聞き直すことができます。

ダイレクトエンコーディング(Line-in)
外部音響機器の出力を取り入れ、1:1で録音することができるダイレクトエンコーディング機能を提供します。この機能はiAUDIO機器の3.5mmのLine-in端子と外部の音響機器の出力端子を双方向ステレオケーブルに接続して録音することを意味します。この機能を利用すると、ポータブルCDプレーヤー、MD(mini disk)、古いレコード版(LP)電蓄、テレビなどの音響機器から直接音楽を入力し、様々な形式のデジタルファイルに変換してiAUDIOに保存して聴取することができます。

FM 放送視聴/録音
FM放送を聞くことができ、放送内容を機器に録音することができます。特にこの機能は語学学習に有用に活用することができます。録音されたファイルは繰り返し視聴も可能です。そして、検索されたラジオの周波数をチャンネル番号に保存することができるフリーセットステーションを24局 提供します。

アラーム及びFMラジオの予約録音機能
設定時刻にアラームを設定して、FMラジオ放送や音楽を自動スタートすることができます。また、設定時刻のFMラジオ放送番組を録音することができます。

ワイドグラフィックLCD
128 x 64グラフィックLCDと追加的なセグメントLCDでできた広幅4ラインワイドLCDをサポートし、機器の全般的な動作状態を一目で確認できます。また多国語をサポートし、より美しいディスプレイを実現するために、機器内に全世界の言語約4万字以上を表示することができる常用フォントを搭載しています。

1,000カラーLEDバックライト及びビジュアライゼーション
1,000色のバックライトカラーが設定できます。MP3、FM Radio、Recording、Menu、Navigating、Song Change時の色を直接カラー指定できます。例えば、MP3モードの時はブルー、FMモードの時はライトグリーンなど、各モードや各アクション時のバックライトのカラーを自由に設定できます。

全世界が認める最強の音場
全世界が認めたiAUDIOならではの強力で繊細な最強のサウンドを提供します。次の全ての音場効果を利用することができます。
- BBE : 音楽を原音に近づけ鮮明にする音場効果
- Mach3Bass : 超低域を強調するベースブースター
- MP Enhance : 損失した音の部分を補償する音場効果
- 3D Surround : 空間感覚を生かす立体音響

ファームウェアのダウンロードでアップグレードも簡単に
ファームウェアのダウンロード機能を利用して、手軽にiAUDIO 5をアップグレードすることができ、持続的なアップグレードのファームウェアの提供で、いつも新しい性能を広げる感覚で製品を利用することができます。

リムーバブルディスク機能
USBケーブルに接続さえすれば、リムーバブルディスクとして即時認識されますので、携帯USBメモリデバイスとしても使用できます。

MP3変換(エンコーディング)ソフトウェア提供
iAUDIOのパッケージとして提供されているファイル転送ソフトウェアのJetShellには、CDにある音楽を簡単でスピーディにMP3ファイルに変換•転送する機能あり、ユーザーが持っているAudio CDの楽曲をiAUDIOに簡単に移して聞くことができます。

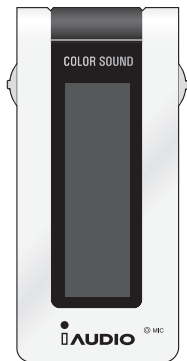
JetAudio 提供
世界的な統合マルチメディア再生ソフトウェアであるJetAudioを提供します。

パッケージの構成品

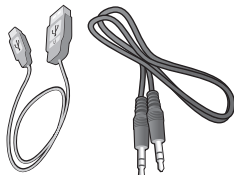
単4アルカリ乾電池1個

バンドルイヤホン

セットアップCD(JetShell, JetAudio)
ユーザーズマニュアル

ファッション・ネックストラップ

iAUDIO(MP3プレイヤー本体)

透明キャリングケース

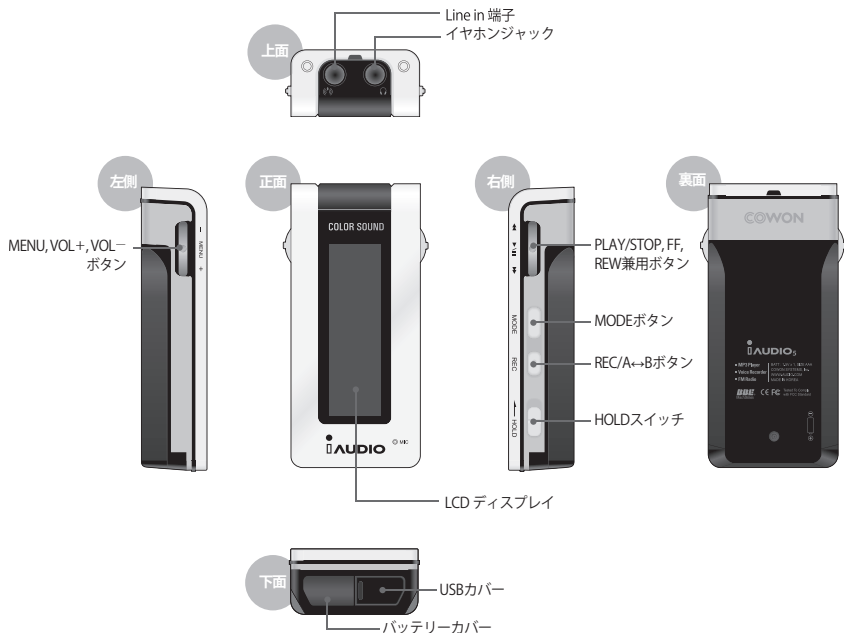
簡単USB接続ジャック

USBケーブル, Line-in録音ケーブル

- MP3、MP2、WMA、ASF、WAV(48khz、Stereoまで)、OGG(Q9までサポート)再生、音声録音、FMラジオ放送受信及び録音、ダイレクトMP3エンコーディング、リムーバブルディスク
- フラッシュメモリ内蔵
- 4ライングラフィックLCD
- 1000カラーLEDバックライト搭載
- USB 2.0 インターフェース
- 長時間再生 : 単4アルカリ乾電池1個で最大20時間再生(COWON社テスト基準)
(ビジュアライゼーション機能利用時は再生時間は多少短くなります。)
- 多国語サポート(機器に世界各国約4万字を表示できる常用フォント搭載)
- 統合ナビゲーター機能
- 再生/一時停止/イントロ再生(Intro)、停止/電源 OFF、録音
- 次のトラック/以前のトラック、高速早送り/高速巻き戻し
- 区間無限リピート
- サーチ速度、Skip速度設定
- デジタルボリューム40段階
- 様々なEQ及び音場効果
  - BBE、Mach3Bass、MP Enhance、3D Surround
  - ユーザー調節が可能な5バンドEQ
  - ノーマル、ロック、ポップ、ジャズ、クラシック、ボーカル、ユーザー
- レジューム機能、自動電源OFF
- ホールド機能
- バックライトON時間調節、スクロール速度調節、バックライトカラー調節
- ファームウェアダウンロード、ロゴダウンロード
- ID3V2、ID3V1、Filenameサポート
- Information表示(ファームウェアバージョン、メモリ使用量)
- ソフトウェア
  - JetShell(ファイル転送、MP3/WMA/WAV/AUDIO CD PLAY、MP3 ENCODING)
  - JetAudio(統合マルチメディア再生ソフトウェア) ※Basic版

仕様

ファイルサポート	MPEG 1/2/2.5 layer 3(8kbps～320kbps)(8kHz～48kHz) 全領域とVBRサポート WMA7 WMA(20kbps～192kbps)(8kHz～48khz)全領域、OGG再生可能(Q9までサポート) ＊WMA9 CBR(5Kbpsモノ～320kbpsステレオ) VBR(平均48kbps～平均256kbps) WAV 再生可能(48KHzステレオまで)
フラッシュメモリ	フラッシュメモリ内蔵（各モデルごとに容量は異なります）
PC インタフェース	USB 2.0
ファイル転送速度	最大20Mbps
バッテリ	単4アルカリ乾電池1本で最大20時間再生(COWON社テスト環境基準)
ボタン	2つのジョグボタン(PLAY、FF、REW、VOL UP/DOWN、MENU)、 MODEボタン、RECボタン
スイッチ	HOLDスイッチ
LCD表示	128 x 64フルグラフィックLCD + セグメントLCD
SNR	95 dB
出力	13mW+13mW(16 Ohm イヤホン)
出力周波数	20Hz ～ 20KHz
サイズ	76.8 x 35 x 18 mm(幅 x 高さ x 厚さ)
重さ	28 g(単4乾電池を除く)

*** WMA9 プロフェッショナル、無損失コーデック、音声コーデックはサポートしていません。**
*** OGG再生時、q8以上ではJetEffectが部分的に適用されます。**

上面
Line in 端子
イヤホンジャック
左側
正面
右側
裏面
MENU, VOL＋, VOL－ ボタン
COLOR SOUND
iAUDIO
MIC
PLAY/STOP, FF, REW兼用ボタン
MODEボタン
REC/A↔Bボタン
HOLDスイッチ
COWON
iAUDIO5
LCD ディスプレイ
下面
USBカバー
バッテリーカバー

電池の入れ方/USB接続の仕方

電池の入れ方

1. 本体下面のカバーを左にスライドさせてバッテリーカバーを開けます。
2. 単4乾電池の−端子のほうを内側にして入れます。
3. 開いているカバーを右に押して閉めます。

USB接続の仕方

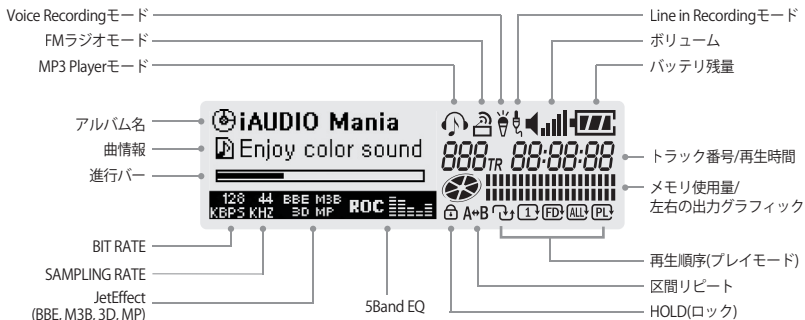
iAUDIOの本体の下面のUSBカバーを開けると内蔵されたUSBポートが見えます。

本体とコンピュータをUSBポートの方向に注意して接続してください。

Windows XPの場合は、転送ウィンドウ表示が閉じた後にUSBケーブルをそのまま外しても大丈夫ですが、**Windows 2000の場合、必ず「ハードウェアを安全に取り外す」を作動させてから取り外さなければなりません。**

ファイルをダウンロードする時はダウンロード後に、iAUDIO LCD 表示パネルでREADYに変わったことを確認してからケーブルを抜いてください。

Voice Recordingモード
FMラジオモード
MP3 Playerモード
アルバム名
曲情報
進行バー
BIT RATE
SAMPLING RATE
JetEffect
(BBE, M3B, 3D, MP)
5Band EQ
Line in Recordingモード
ボリューム
バッテリ残量
トラック番号/再生時間
メモリ使用量/
左右の出力グラフィック
再生順序(プレイモード)
区間リピート
HOLD(ロック)

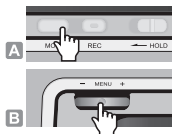
iAUDIO Mania
Enjoy color sound
888TR 88:88:88
128 KBPS 44 KHZ BBE 3D M3B MP ROC
A↔B 1 FD ALL PL

バッテリの残量アイコンは電池の使用可能時間を表示します。電池を使用することにより、マスの数が減ります。一部の乾電池/充電池の場合、保存された電力量を測定(センシング)する途中でバッテリ型のアイコンの数が不規則に増減することがありますがこれは正常です。

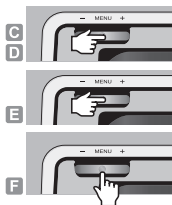
バッテリの使用量が切れかけ、アイコンが点滅し始めたら、約30分動作した後に自動的に電源が切れます。

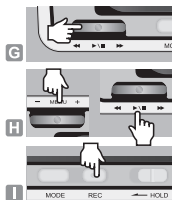
MP3 Playerモード利用時、停止中にメモリ使用量を表示します。
内蔵メモリが128Mbyteの場合、1マスは約21Mbyteを(128Mbyte ÷ 6)意味します。
MP3 Playerモードで再生する場合は で、FMモードでは の形式でアニメーションされます。

ID3V2、ID3V1を使用する時は、ディスクの形を使用し、Artist + Albumの情報を表示します。表示の設定がFilenameであったり、タグにArtist情報がない場合は、フォルダの形を使用し、フォルダ名を表示します。曲がルートに入っている場合はフォルダ名にiAUDIOと表示されます。

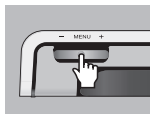
メニューおよびモード切替の基本操作

1. ナビゲーターまたはモード切替画面を開く

A. モード切替画面を開くためには、再生か停止状態でMODEボタンを押します。
B. ナビゲーターを開くためには、再生か停止状態でMENUボタンを長く押します。(Setup Menu → General → Menu Buttonメニューで動作方式の変更が可能です)

2. ナビゲーターまたはモード選択時の移動および選択(確定)

C. メニューの上下移動: VOL −を押すと上に、VOL+を押すと下に移動します。
D. メニュー、モード選択の左右移動: VOL-を押すと左に、VOL+を押すと右に移動します。
E. EQまたはColorのセットで詳細項目への移動はFF(詳細項目に入る及び右に移動)ボタンとREW(左に移動)ボタンで行い、調節値は +、−で調節します。
F. 選択: MENUキーを押します。

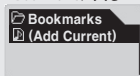
3. 以前のメニューに移動、設定後各モード別実行画面に移動、設定をキャンセルして閉じる

G. 以前のメニューに移動: REWボタンを押します。REWボタンを押す前の値が保存され、以前のメニューに移動します。
H. 各モード別実行画面に移動: セット値を調節した後にMENU、再生/一時停止ボタンを押して選択します。調節値が反映され、各モード別実行画面に移動します。
I. 設定をキャンセルして閉じる: REC/A↔Bボタンを押すと設定値を保存しないでメニューを閉じます。

ナビゲーターの基本操作

1. ナビゲーションモードに入る

再生または停止状態でMENUボタンを長く押して、ナビゲーターを実行します。

MODEボタンを押すとNavigation Modeが実行されます。

Music Files : MP3、WMAなどの一般的な音楽ファイルをフォルダの構造に従って検索することができます。
Dynamic PlayList :「Add to list」によって追加したプレイリストを表示します。リスト項目の削除も可能です。
Bookmarks : ブックマークとは曲の特定位置を保存し、次に保存した位置から聞きたい時に使用する機能です。再生時間が長い語学ファイルやオーディオブックなどを使用する時に役立ちます。現在再生中の音楽を20曲までブックマークをすることができ、既にブックマークしたファイルを設定した位置で再生させることもできます。再生中にRECボタンを長く押すとブックマークが設定されます。

• Bookmarksに入る

(Add Current) でPLAYボタンを押すと再生中の曲の現在の位置をブックマークします。選択したブックマークの項目に対してPLAYボタンを押すか、▶▶方向に動くと、そのファイルのブックマークの位置で再生をスタートします。

Play now : ブックマークの位置で曲を再生します。
Remove : 該当ファイルのブックマークの表示を消します。
Remove all : 全てのブックマークを消します。

2. ナビゲーターで(特定)ファイルを選択後、MENUボタンを押した時のアクション

- Play now: 該当トラックを即時再生します。
- Add to List: ダイナミックプレイリストに追加します。
- Intro: 該当トラックの最初の部分だけを聞く機能です。
- Delete: 該当トラックをフラッシュメモリーから完全に削除する機能です。

3. ナビゲーターで(特定)フォルダを選択後、MENUボタンを押した時のアクション

- Expand: 選択されたフォルダをOpenします。
- Play now: 選択されたフィルダ内のトラックを再生します。
  (フォルダ状態なので曲名は表示されません)
- Add to List: 選択されたフォルダ内の全てのトラックがダイナミックプレイリストに追加されます。
- REWボタンを押すと上位フォルダに移動します。
- フォルダを選択してFFボタンを押すと直ちにそのフォルダが開きます(Expandと同じ動作です)。

MP3 Player モード

1. 電源ON・再生する

- 使用可能な単4乾電池を入れて、イヤホンを正しく接続します。
- PLAYボタンを押すとiAUDIOのロゴが表示され、電源がONになります。
- 電源がONになると同時に再生が始まります。
- レジューム機能が設定されているので、最後に再生されたトラックと再生位置を記憶して、そこから再び再生が始まります。
- 他のモードからMP3 Playerモードに移動して音楽を聞くには、電源がONの状態で、 MODEボタンを押して表示されるメニューの中からMP3 Playerを選択します。+、− ボタンに移動してフォーカスを合わせた後、MENUボタンで選択するとMP3 Playerモードに入ります。

2. 電源OFF・停止する

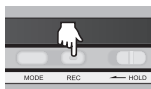
- 電源OFF : PLAYボタンを長く押すと電源が切れます。
- 停止 : 再生状態でPLAYボタンを短く押すと再生が停止します。
- Auto offやSleep機能を設定しておくと、自動的に電源が切れます。
- パソコンとiAUDIOがUSBケーブルに接続されていると電源を切ることができません。

3. ボリュームを調節する

- PLAY 状態でボリュームを調節するには、+ または − ボタンを押してください。
- 短く押すと1単位ずつ調節され、長く押していると高速で調節されます。
- ボリュームは 00(mute)～ 40まで調節できます。

4. モード切り替え

- MODEキーを押すとMODE切替メニューが表示されます。
- 希望するMODEを +、− ボタンを押して「MP3 Player → FM Radio → Voice Recorder → Line in Recorder」の順に選択することができます。希望するモードを選択した後、MENUキーを押してください。
- メニュー画面の状態でモード切替はできません。

5. 区間リピートを設定する: A↔B

MP3 Player モードでトラック再生中、REC(A↔B)ボタンを利用します。区間リピートを希望するスタート部分でキーを押すと、LCD下段の中間部分に(A↔)アイコンが表示されます。そしてリピート区間終了時点でボタンをもう一度押すと、(A↔B)の形にアイコンが変わります。こうして指定された区間で無限にリピート再生されます。区間リピート中にこの機能を解除するにはRECボタンをもう一度押します。

6. ホールド :

HOLDボタンをONにすると他のボタンを押しても機器が作動しません。

FM Radio(FMラジオを聴く)

電源をON後、MODEボタンを押して表示されるメニューの中からFM Radioを選択します。+、－ボタンで移動してフォーカスを合わせた後、MENUボタンで選択するとFMモードに入ります。

FM放送の状態でFF/REWボタンを短く押すと0.1 Khzずつ移動します。

FF / REWボタンを1～2秒間押してから手を離すと、最も近接する周波数の帯域で受信率が良好なチャンネルを自動的に検索します。

FMを聞いている最中に、該当する放送を録音したい時は、RECボタンを押します。あらかじめ設定された録音の品質によって録音されるファイルは『Records』フォルダの下位の『FM』内に F***.MP3 というファイルで保存されます。(***　3桁の通し番号)

録音中にPLAYボタンを軽く押すと「一時停止」になります。

録音の品質を設定するメニューはマニュアルの34ページを参考にしてください。

受信中に、PLAYボタンを短く押すと、あらかじめ保存したチャンネルを選択できるプリセットモードに切り換わります。放送を聴いている時にメニューボタンを長く押して入る、FM Presetsには24局のプリセットチャンネルを設定できます。FF/REWボタンを押してプリセットチャンネルを変更することができます。チャンネルを選択してからMENUボタンを押すと、表示されるポップアップでより以下のような便利な機能を利用することができます。

- Listen Ch : 現在設定されている周波数を聴く機能です。
- Save Current : 現在の周波数をプリセットに指定(追加)する機能です。
- Delete Ch : 現在のプリセットを削除する機能です。

Voice Recorder(内蔵MICで音声録音する)

電源をONした後、MODEボタンを押して表示されるメニューの中からVoice Recorderを選択します。+、− ボタンで移動してフォーカスを合わせてからMENUボタンで選択するとMICモードに入ります。

RECボタンを押すと録音が始まります。

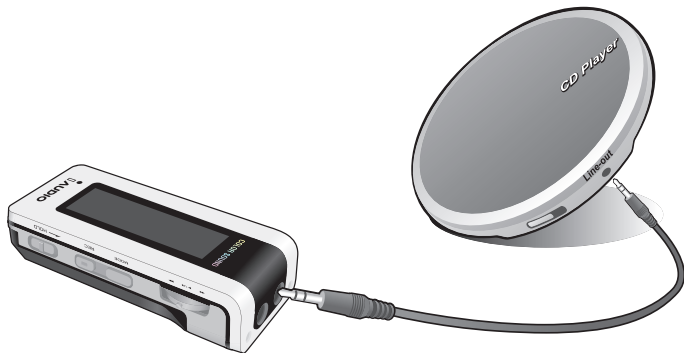
録音されるファイルはあらかじめ設定された録音の品質によって『RECORDS』フォルダの下位にある『VOICE』の中のV***.MP3 というファイルに保存されます。(***3桁の通し番号)

録音の品質を設定するメニューはマニュアルの34ページを参考にしてください。

録音を完了した後、レバーを長く押してナビゲーターに入ると、以下のような便利な機能を利用することができます。

- Play now : 該当トラックを即時再生します。
- Add to List : ダイナミックプレイリストに追加します。
- Intro : 該当トラックの初めの部分のみ聞く機能です。
- Delete : 該当トラックをフラッシュメモリーから完全に削除する機能です。

高速巻き戻し、高速早送りなどの機能を利用して録音されたファイルを再生するためには、MP3 Playerモードに移動して、『RECORDS』フォルダの下位にある『VOICE』の中のV***.MP3という該当ファイルを選択してから再生します。

Line-in Recorder(ダイレクトエンコーディング)

実際にCDプレーヤーとiAUDIO 5とのダイレクトエンコーディングの仕方を例にして説明します。

電源をON後、MODEボタンを押して表示されるメニューの中からLine-in Recorderを選択します。
+、−ボタンで移動してフォーカスを合わせた後、MENUボタンで選択するとLine-in Recorderモードに入ります。

CDプレーヤーのヘッドホン端子と、iAUDIOのLine-in 端子を双方向ステレオジャックケーブルで接続します。

RECボタンを押してiAUDIOを録音待機状態にします。この時、メモリ使用量のアイコンが点滅しますが、タイマーは増加しないので、録音状態ではなく待機状態になります。

CDプレーヤーの再生ボタンを押すと、iAUDIOでLine-in 端子から入ってくる信号を受け入れて自動的に録音が始まります。

録音されるファイルは『RECORDS』フォルダの下位にある『Line-in』の中のL***.MP3のように数字順に保存されます。(*** 3桁の通し番号)

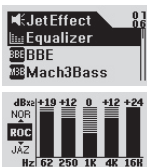
録音品質を設定するメニューはマニュアルの34ページをご参考ください。

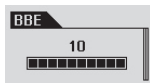
録音を完了した後、メニューボタンを長く押してナビゲーターモードに入ると、以下のような機能を利用することができます。

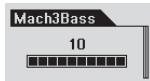
- Play now : 該当トラックを即時再生します。
- Add to List : ダイナミックプレイリストに追加します。
- Intro : 該当トラックの初めの部分のみ聞く機能です。
- Delete : 該当トラックをフラッシュメモリから完全に削除する機能です。

高速巻き戻し、高速早送りなどの機能を利用して、録音されたファイルを再生するためにはMP3 Playerモードに移動した後『Records』フォルダの下位にある『Line-in』の中のL***.MP3 というファイルを選択してから再生します。

JetEffect

1. Equalizer

MP3 Player モードの状態でMENUボタンを押してからJetEffectに入ります。
Equalizerを選択し、MENUボタンを押すと5バンドEQが表示されます。
ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、ポップ、ボーカル、ユーザー
EQの中から希望する項目に ＋、－ ボタンを使って移動します。
これら全てのEQはユーザー調節が可能です。
調節するには希望するEQを選択した後、FFボタンを押して編集可能な状態に切り替えてから、+、– ボタンで値を調節することができます。

2. BBE: BBE

BBEとは音楽を鮮明にする音場効果です。
MP3 Playerモード状態でMENUボタンを押してからJetEffectに入ります。
BBEを選択してMENUボタンを押すと 0～10 段階に調節することができるメニューが表示されます。この状態で +、– ボタンで値を調節することができます。

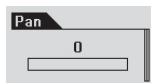
3. Mach3Bass: M3B

Mach3Bassは超低域を強調するベース増幅機能です。
MP3 Playerモードの状態でMENUボタンを押してからJetEffectに入ります。
Mach3Bassを選択してMENUボタンを押すと0～10 段階に調節することができるメニューが表示されます。この状態で +、– ボタンで値を調節することができます。

4. MP Enhance: MP

MP Enhanceは損失した音の部分を補償する音場効果です。
MP3 Playerモードの状態でMENUボタンを押してからJetEffectに入ります。
MP Enhanceを選択してMENUボタンを押すとこの機能をOn / Offするメニューが出ます。この状態で +、– ボタンで設定を切り替えることができます。

5. 3D Surround: 3D

3D Surroundは3次元の立体音響効果を提供します。
MP3 Playerモード状態でMENUボタンを押してからJetEffectに入ります。
3D Surroundを選択してMENUボタンを押すと0～10の段階で調節することができるメニューが表示されます。この状態で +、− ボタンで値を調節することができます。

6. Pan (左右のバランス)

Panは左右の音量のバランスを調節する機能です。
MP3 Playerモード状態でMENUボタンを押してからJetEffectに入ります。
Panを選択してMENUボタンを押すと0を基準に −20から +20まで調節することができるメニューが表示されます。
この状態で +、− ボタンで値を調節することができます。

Play Mode

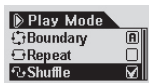
1. Boundary(再生範囲を設定する): 1 FD ALL PL

様々な再生範囲を設定するメニューです。
音声録音、Line-inで録音されたMP3ファイルは除きます。
MP3 Playerモードの状態でMENUボタンを押してからPLAY Modeに入ります。
Boundaryが選択された状態でMENUボタンを一度ずつ押すと次のように変更されます。

- 1(One) :　1曲のみ再生します。
- F(Folder) : 現在選択されたフォルダのみ再生します。
- A(All) : フォルダに関係なく全てのトラックを再生します。
  但し、RECORDSフォルダの中にある録音ファイルは再生されません。
  RECORDSの中ではFや1モードのみ動作します。
- P(Playlist) : プレイリストに追加されたトラックのみ再生します。

2. Repeat(リピート再生を設定する): 1 FD ALL PL

Boundaryで指定された範囲内でリピート再生値を調節することができます。
MP3 Playerモードの状態でMENUボタンを押してからPlay Modeに入ります。
Repeatを選択してMENUボタンを押すと、右側の四角にチェックが入ります。
再びMENUを押してチェックを外すと、リピート再生は設定されなくなります。
チェックされると無限にリピートされます 。

3. Shuffle (任意再生を設定する):

Boundaryで指定された範囲内で任意再生(シャッフル再生)するかどうかを設定します。MP3 Playerモードの状態でMENUボタンを押してからPLAY Modeに入ります。Shuffleを選択してMENUボタンを押すと、右側の四角にチェックが入ります。再びMENUを押してチェックを外すと、任意再生は設定されなくなります。チェックされている場合、任意再生されます。

Backlight

バックライトのカラーを変更することができます。MENU ボタンを押してからBacklightを選択してMENUボタンをもう一度押します。動作項目が表示され、選択後にMENUを押すと調節可能です。電池残量が少ない時は、指定された色ではなく、バッテリ消耗の少ない色のバックライトがつき、テーマ機能は動作しません。

1. Color

動作項目：Playing, FM Radio, Recording, Menu, Navigating, Song Change

(例) Playingを選択します。Red、Green、Blueの3色が表示されます。
Redを選択後、FF/REWボタンを押すと色が変更されます。
0～9の値の中から選択後、MENUボタンを押すと上位メニューに移動します。

2. White Balance

- バックライトのホワイトバランスを調整するメニューです。
- バックライトが白みがかった微妙な色を調整できます。
- FF/REWの方向に動かして調整する色を変更します。
- +/− の方向に動かして値を調整します。

3. Theme

- iAUDIO 5が提供するビジュアライゼーション効果です。
- Themeを選択してMENUボタンを押してから、希望するテーマを +、− ボタンで選ぶことができます。
- Rainbow Runner、Shooting Starの中から選択することができ、Noneを選択するとThemeが適用されません。

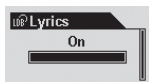
4. Time

- バックライトの点灯時間を設定するメニューです。
- Timeを選択してMENUボタンを押してから +、−ボタンで3秒、5秒、10秒、30秒、60秒、常時点灯、常時消灯の中から選択することができます。

Display

1. View Watch(現在日時表示)

- 現在日時を表示する機能です。
- Onに設定された場合、MP3 Playerモードのフォルダ/アルバム名の位置に時刻を表示します。
- 時間設定はSetup Menu → Timer → Set Timeのメニューで設定します。

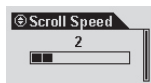
2. Lyrics (歌詞出力) ※日本語の歌詞には非対応です。

- 再生されるトラックの歌詞を表示する機能です。
- 該当機能を選択し、ジョグレバーを上/下に操作するとOn/Offに変更されます。
- On : 歌詞がある場合、自動出力されます。/ Off : 歌詞があっても出力されません。
- MP3 Playerモードで一般的な再生画面と歌詞出力画面の切り換えはREC/A↔Bを長く押して行ないます。(歌詞マーキングされた曲のみ反応)

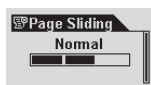
3. Play Time (再生時間)

- 再生されるトラックの時間情報を表示し、これを変更する機能です。
- Remain : トラックの残り時間を表示します。(例: 3:32)
- Elapse : トラックの経過時間を表示します。(例: 0:01)
- 該当する機能を選択してMENUボタンを押すと適用されます。

4. Song Title (曲名表示)

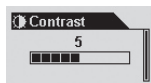
- ファイル名をどのように表示するかを調節する機能です。
- ID3V2 : ID3タグバージョン2に優先権を与えます。
- ID3V1 : ID3タグバージョン1に優先権を与えます。
- FileName : 保存されたWindowsのファイル名をそのまま表示します。
- 該当する機能を選択してMENUボタンを押すと、次の曲から適用されます。

5. Scroll Speed (画面速度)

- LCDに流れる文字のスクロール速度を調節する機能です。
- 0から8まで設定することができます。(0はスクロールされません。)
  Scroll Speedを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンで適切な値を選択することができます。

6. Page Sliding (メニュー開閉速度調節)

- メニューを開閉する時、ソフトなアニメーション効果を制御する機能です。
- Fast、Normal、Smoothを選択することができます。
- 該当機能の値を選択してMENUボタンを押すと適用されます。

7. Language (言語表示)

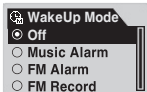
- 再生するトラックのファイル名またはID3タグ情報が正しく表示されるように言語を選択する機能です。
- Chinese(Simp)、Chinese(Trad)、English、Hangul(Korea)、Japanese、Russianの中から選択することができます。
- 一部の外国語または特殊フォントの場合、言語コードの互換性によって正常に表記されないことがあります。
- 該当する言語をMENUボタン+、− で選択した後に押すと適用されます。

8. Contrast (画面の明るさ)

- LCD画面の明るさを調節する機能です。
- 1から9まで設定することができます。
  Contrastを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンで適切な値を選択することができます。

Timer

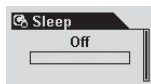
1. Set Time(現在日時設定)

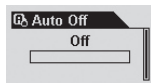
- 現在の日時を設定する機能です。
- 項目を切り換えるにはFFの方向にジョグを押します。
- 値を変更するためには +、− の方向にジョグを押します。

2. WakeUp Mode(アラームの種類選択)

- アラーム発生時、動作する方式を選択する機能です。
- Music Alarm: 定められた時刻に電源がついてMP3 Playerモードに移動し、最後に聴いた曲を再生します。(電源がついている場合は動作しません)
- FM Alarm: 設定した時刻に電源がついてFM Radioモードに移動し、最後に聴いたチャンネルまたはFM Presetに設定されたチャンネルが放送されます。
- FM Record: 設定した時刻に電源がつき、FM Radioの録音モードに移動し、最後に聴いたチャンネルまたはFM Presetに設定されたチャンネルが録音されます。(電源がついている場合にも動作します)

3. WakeUp Time (アラーム時刻と方式設定)

- アラーム発生時刻と方式を設定する機能です。
- Once :アラームが一度だけ発生し、Dailyは毎日アラームが発生します。
- Duration :アラーム動作が持続する時間を意味し、「10 min」に設定されていると10分後に自動的に電源が終了します。
- FM Alarm、FM Recordでは放送チャンネルを選択することができ、最後に聴いたチャンネルまたはFM Presetに設定されたチャンネルを選択できます。

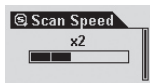
4. Sleep

- 機器が動作している状態であらかじめ設定した時間に合わせて自動的にiAUDIOがOffになる機能です。
- 0(Off)、10、20、30、40、50、60、90、120、180 min の中から選ぶことができます。
- Sleepを選択してMENUボタンを押した後 +、－ ボタンで適切な値を選択することができます。

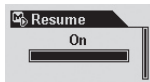
5. Auto Off

- 機器が停止している状態で次の時間の間ボタン操作しないと、機器が自動的にOFF状態になる機能です。
- 0(Off)、30sec、1、5、10、30、60 minの中から選ぶことができます。
- Auto Offを選択してMENUボタンを押した後 +、－ボタンで適切な値を選択することができます。

General

1. Skip Length(スキップの長さ)

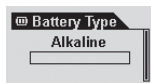
- FF/REWボタンを短く押した時のスキップする時間の長さを設定する機能です。
- Track / 2 / 3 / 4 / 5 / 10 / 15 / 20 / 30 secの中から選択することができます。
- Skip Lengthを選択してMENUボタンを押した後 +、−ボタンで適切な値を選択することができます。

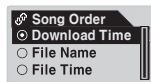
2. Scan Speed(スキャン速度)

- FF/REWボタンを長く押した時の早送り/巻き戻しの速度を設定する機能です。
- x1 / x2 / x4 / x8 / x16 倍速の中から選択することができます。
- Scan Speedを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンで適切な値を選択することができます。

3. Resume (レジューム機能)

- 最後に再生したトラックの位置を記憶する機能です。
- On / Off の中から選択することができます。
- Resumeを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンでOn/Offを選択することができます。

4. Auto Play (自動再生)

- iAUDIOの電源をONにした後、自動的に即時再生される機能です。
- On/OFFの中から選択することができます。
- Auto Playを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンでOn/OFFを選択することができます。

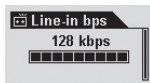
5. Battery Type (電池の種類)

- 使用する電池の種類を直接設定するメニューです。
- 電池の種類により、電池の残量を測定する値が違ってくるので、種類を正しく選択しなければなりません。
- Alkaline / Rechargeableの中から選択することができます。iAUDIOは公式的に1.2 ～ 1.5 v のニッケル水素急速充電池またはアルカリ乾電池を推奨します。
- Battery Typeを選択し、MENUボタンを押した後 +、− ボタンで電池タイプを選択することができます。

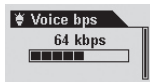
6. Song Order (曲の整列方式選択)

- 曲の整列方式を選択する機能です。
- Download Time: 曲をiAUDIOにダウンロードした順に曲を整列します。
- File Name: 曲をファイル名順に整列します。
- File Time: 曲をファイル日順に整列します。
- 設定変更内容はiAUDIOの電源ON/OFF後に反映されます。
  * Song OrderのFile Nameは既存のDOS File Nameを使わずLong File Nameを使用するので、これまでの方式より正確に整列されますが、電源ON時の起動時間が少し長くなる場合があります。

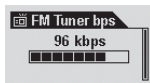
7. Menu Button (メニューボタン機能選択)

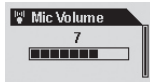
- MENUボタンを長く押した時、ナビゲーションを表示するか、メニューを表示するか選択します。

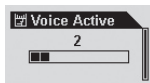
Recorder

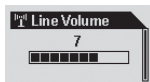
1. Line-in Quality(ラインイン録音品質)

- ラインインで録音されるファイルの転送率(品質)を設定するメニューです。
- 設定範囲は WAVE : 8、11、16、32khz ／ MP3 : 96、112、128 kbps
- Line-in Qualityを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンで適切な値を選択することができます。

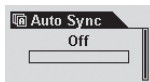
2. Voice Quality(内蔵マイク録音品質)

- 製品の前面部にある内蔵マイクに録音されるファイルの転送率(品質)を設定するメニューです。
- 設定範囲は WAVE : 8、11、16、32khz ／ MP3 : 96、112、128 kbps
- 内蔵マイクで録音されるファイルは全てモノラルです。
- Voice Qualityを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンで適切な値を選択することができます。

3. FM Quality(FMラジオ録音品質)

- FM視聴中にRECボタンを押して録音されるファイルの転送率(品質)を設定するメニューです。
- 設定範囲は WAVE : 8、11、16、32khz ／ MP3 : 96、112、128 kbps
- FM Qualityを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンで適切な値を選択することができます。

4. Mic Volume(内蔵マイクボリューム)

- 内蔵マイクの入力ボリュームレベルを調節します。
- 過度なボリューム値は周辺の騒音の増幅または電気的なノイズを発生させ、録音の品質を落とすことがあります。
- 1～10までの値で設定でき、数値が大きいほど音が増幅されます。
- Mic Volumeを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンで適切な値を選択することができます。

5. Voice Active

- 内蔵マイクでの録音中に音の入力がない場合、自動的にPause状態に入り、大きな音が入力されると録音が再開する機能です。メモリ使用量を節約することができるという特長があります。
- 0 (Off)～ 10 までの値で設定でき、小さな値を設定するほどより敏感に反応します。また周辺の騒音に比べて過度に高い値は機器の感度を落とし、録音待機状態に長く保たれることがあるので、重要な録音時には必ず0(Off)にしてご利用ください。
- Voice Activeを選択してMENUボタンを押した後 +、－ ボタンで適切な値を選択することができます。

6. Line Volume

- Line-in端子の入力ボリュームレベルを調節します。
- 1～10までの値で設定でき、大きな数値になるほど音が増幅します。
- Line Volumeを選択してMENUボタンを押した後 +、－ ボタンで適切な値を選択することができます。

7. Auto Sync

- Line-in端子に入ってくる音を感知し、トラックとトラック間の空白(無音)を自動的に認知し、各々のトラックに分けて個別ファイルにする機能です。
- 0(Off) ～ 8までの値で設定でき、大きい数値になるほどトラック間の空白の幅が長い場合に認知されます。
- 上の数値はsec(秒)等の意味ではなく、一般的なレベル数字表記です。
- Auto Syncを選択してMENUボタンを押した後 +、－ ボタンで適切な値を選択することができます。

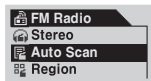
FM Radio

1. Stereo(ステレオ設定)

- FMラジオ視聴をステレオ、モノラルかを選択するメニューです。
- Stereo / Mono の中から選択することができます。

2. FM Region(受信地域設定)

- FMラジオを受信する地域(国)を選択するメニューです。
- China/Europe/Japan/Korea/Russia/US の中から選択することができます。
- Regionを選択してMENUボタンを押した後 +、− ボタンで適切な地域(国)を選択することができます。

3. Auto Scan

- 受信可能なFM 周波数を自動的に検索して登録します。

※FMラジオ放送を受信中はイアホンがFMアンテナ役割を果たします。
※FM聴取中にイヤホンをできるだけまっすぐ伸ばせば、より良好な受信状態を保つことができます。

Information

Version (ファームウェアのバージョン)

- 現在iAUDIOに搭載されているファームウェアのバージョンを表示します。

Memory (使用/メモリの全体容量)

- 現在のiAUDIOのフラッシュメモリについての情報を表示します。
- 使用量、残量を確認することができます。
- iAUDIOのフラッシュメモリはシステム領域で使用される部分を共有しています。
従ってiAUDIOの正常な駆動に必ず必要とするシステム領域を除くと、実際に表示されるフラッシュメモリの容量は多少減ることがあります。
- 例えば256MBの製品の場合、242MBほどのメモリ容量が正常な製品です。

Battery (電池残量)

- 現在iAUDIOの中にある乾電池に対する情報をV値に表示します。

– フラッシュメモリーを使用するデバイスの機能により、認識できる最大のファイル数（フォルダーを含む）には制限があります。
– 認識できる最大のファイル数（フォルダーを含む）は約650個であり、今後のファームウェアのアップグレードにより変更される場合があります。

用語説明

BBE

音源を鮮明にする音場効果で、再生される際に発生する減衰や波形の乱れを補正し、出力波形を極めて原音に近い形で再現します。

Mach3Bass

超低域を強調する精巧なベースブースターで、より豊かで深みのある重低音を表現します。

MP Enhance

圧縮音源の再生時、トラックの損失した音の領域帯を補正する音場効果です。

3D Surround

3次元立体音響効果を生み出す音場効果です。

Boundary

ファイルやフォルダなどについて再生領域を意味します。

Contrast

LCD画面の明るさを調整する機能です。

Resume

電源OFF時、最後の再生地点を記憶する機能です。このResume設定により、次回電源ON時に前回聴いていた再生終了地点から再生が始まります。

症状	措置	説明
電源がONになりません。	乾電池が正しい方向に装着されているかを確認してください。	乾電池の極性が正しくないと動作しません。
	新しい乾電池に交換してみてください。	乾電池が切れていると動作しません。
	乾電池を取り外して、入れ直してください。	乾電池の接触部位(+、−があたる部分)に異物質がないか確認して取り除いてください。
音が全く聞こえません。	機器のメモリにオーディオファイル(MP3、WMA等)が保存されているか確認してください。	機器のメモリ中にオーディオファイルが保存されてない場合、動作しません。
	HOLDスイッチがロックされているか確認します。 ロックされていたら、HOLDスイッチを解除してください。	HOLDスイッチがロックされている状態では機器が動作しません。
FMラジオが使えません。	建物の内部または地下鉄の全区間、移動中の電車内のようにユーザーの位置によってはFM受信感度が低下し、放送受信状態が一定でないことがあります。また電波の影になる地域では聞こえないことがあります。	
	ラジオの受信が可能な地域でFMラジオが動作しなければ、受信モジュールに問題があることがあるので、コールセンターにお問い合わせください。	
LCDの文字が化けています。	機器のメニューのうち、言語表示のメニューでEnglishに再設定、ID3タグの調節メニューでFile nameでご利用ください。問題が解決されず当社のサービスセンターで該当品を確認時、他の同種のiAUDIO機器でも同一の症状が発生する現象は、当製品がハングルWindows基準で開発された機器なので、一部特殊フォント・言語は文字化け状態で表示されることがあります。	
フラッシュメモリーの容量が少なく表示・使用されます。(例:256MBだが242MBと表示)	iAUDIOのフラッシュメモリはシステム領域で使用される部分を共有しています。従ってiAUDIOの正常な駆動に必ず必要とするシステム領域を除くと実際に表示されるフラッシュメモリーの容量は多少減ることがあります。例えば256MBの製品の場合、242MBほどの容量なら正常な製品です。	

症状	措置	説明
メモリが一杯になり、機器が誤作動したり再生されません。	フラッシュメモリの初期化(フォーマット)後、1-2MBほどの余裕空間を残してファイルを再転送をしてください。	フラッシュメモリ内のRootフォルダには機器の重要なシステムファイルであるsettings.datファイルが保存されています。このファイルが正しく保存されていなかったり、ファイル転送中に誤って削除・毀損した場合、誤動作が発生することがあります。
ルート(Root)フォルダに数百個ほどの大量のファイルを保存した後、機器が動作しなかったり誤動作します。	Windows98の場合は制限が大きく、2000、XPの場合もフォルダを作成し、その下位にフォルダを作成してご利用ください。	iAUDIOはFATを利用します。こうしたFATの制約のため、ルートディレクトリ内にファイルを多く入れるのは避けてください。

JetShell実行時は、JetShellがiAUDIOのドライブを制御するために、次の場合は必ずJetShellを終了して使用しなければなりません。

- USBドライブのインストール時
- Windowsエクスプローラでフォーマットする場合
- ファームウェアをアップグレードする場合

MP3 Playerモード

キー	動作	停止時	再生時
Play/Pause	●	現在のトラック再生	現在のトラック停止
	▬	電源OFF	電源OFF
FF	●	次のトラックに切り換え	次のトラック移動または5sec、10sec移動(SKIP設定)
	▬	高速早送り	高速早送り
REW	●	前のトラックに切り換え	前のトラック移動または5sec、10sec移動(SKIP設定)
	▬	高速巻き戻し	高速巻き戻し
MENU	●	設定メニュー	設定メニュー
	▬	Navigator	Navigator
MODE	●	MODE選択	MODE選択
	▬		歌詞表示On/Off
VOL +		ボリュームを上げる	ボリュームを上げる
VOL –		ボリュームを下げる	ボリュームを下げる
REC/A↔B	●		Repeat A↔B スタート及び終了(区間リピート)
	▬		現在位置にブックマーク設定

キー動作で ●は短く押した場合を意味し、▬は1秒以上長く押した場合を意味します。

FM Radioモード

キー	動作	停止時	Preset モード時
Play/Pause	● (短押し)	Presetモードに入る	Presetモード解除
	━ (長押し)	電源OFF	電源OFF
FF	● (短押し)	周波数増加	次のPresetに移動
	━ (長押し)	次のFM放送自動検索	次のPresetに移動
REW	● (短押し)	周波数減少	ひとつ前のPresetに移動
	━ (長押し)	前のFM放送自動検索	前のPresetに移動
MENU	● (短押し)	設定メニュー	設定メニュー
	━ (長押し)	Preset画面設定	Preset画面設定
MODE		MODE選択	MODE選択
VOL＋		ボリュームを上げる	ボリュームを上げる
VOL－		ボリュームを下げる	ボリュームを下げる
REC/A↔B	● (短押し)	録音スタート及び終了	録音スタート及び終了

Voice Recorder/Line-in Recorderモード

キー	動作	停止時	録音時
Play/Pause	●	録音ファイル再生	一時停止 / 続けて録音
	━	電源OFF	電源OFF
FF		次のTrackに切替	
REW		以前のTrackに切替	
MENU	●	設定メニュー	
	━	Navigator	
MODE		MODE選択	
VOL＋		ボリュームを上げる	
VOL－		ボリュームを下げる	
REC/A↔B	●	録音スタート	録音終了

Navigator

キー	動作	ファイル選択時	フォルダ選択時
Play/Pause	●	選択されたファイルの再生後、MP3 Playerモードに変更	Expand(該当)フォルダへ移動
	▬		
FF	●	選択されたファイル再生し、ナビゲーションモードが維持される	Expand(該当)フォルダへ移動
	▬	選択されたファイル再生後MP3 Playerモードに変更	
REW	●	上位フォルダに移動	上位フォルダに移動
	▬		
MENU	●	Pop up メニュー	Pop up メニュー
	▬		
MODE	●	Navigation Modeへ入る	Navigation Modeへ入る
Vol +		フォーカスの下に移動	フォーカスの下に移動
Vol –		フォーカスの上に移動	フォーカスの上に移動
REC/A↔B	●	MP3 Player モードに変更	MP3 Playerモードに変更
	▬		

JetEffect	イコライザー	: Equalizer
	BBE	: BBE
	Mach3Bass	: Mach3Bass
	MP Enhance	: MP Enhance
	Surround	: 3D Surround
	バランス調節	: Pan
Play Mode	再生範囲	: Boundary
	リピート再生	: Repeat
	任意再生	: Shuffle
Backlight	カラー	: Color
	ホワイトバランス	: White Balance
	テーマ	: Theme
	点灯時間	: Time
Display	日時表示 歌詞出力 再生時間	: View Watch : Lyrics : Play Time
	ID3 タグ	: Song Title
	スクロール速度	: Scroll Speed
	スライド	: Page Sliding
	言語設定	: Language
	LCDの明るさ	: Contrast
Timer	現在日時設定	: Set Time
	アラーム選択	: WakeUp Mode

Timer	アラーム設定	: WakeUP Time
	スリープモード	: Sleep
	自動OFF	: Auto off
General	スキップの長さ	: Skip Length
	スキャン速度	: Scan Speed
	レジューム	: Resume
	即時再生	: Auto Play
	バッテリタイプ	: Battery Type
	曲整列方式	: Song Order
	メニューボタン	: Menu Button
Recording	ラインイン	: Line-in bps
	内蔵マイク	: Voice bps
	FMラジオ	: FM Radio bps
	マイク感度	: Mic Volume
	入力音量感知	: Voice active
	ライン感度	: Line Volume
	自動曲分離	: Auto Sync
FM	ステレオ	: Stereo
	地域設定	: Region
	オートスキャン	: Auto Scan
Information	ファームウェアバージョン メモリ使用量 バッテリ詳細	

JetShell（ジェットシェル）とは?

JetShellは次のような役割を行なうiAUDIO専用マネージャープログラムです。

- iAUDIOにファイルを転送(Download/Upload)する機能
- Windowsエクスプローラと同じ構造のファイル管理機能
- MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)再生
- Audio CDからmp3ファイル抽出(リッピング)機能
- WAV /MP3 /WMA間の相互変換機能
（但しMP3からWMA、WMAからWAV、WAVからMWA変換は非対応）
- MP3 Bit rate変換機能
- 転送リスト(Download List)による便利なファイル転送
- 様々なスペクトラム、イコライザー、イフェクトサポート
- CDDB、ID3タグ編集機能（CDDBは日本語非対応）
- iAUDIOロゴ転送機能
- フラッシュメモリーフォーマット機能

JetShellのPC使用環境

- Pentium II 233Mhz相当以上のCPU
- 64MB以上のシステムメモリ（または使用OSが推奨するシステムメモリ）
- ハードディスクに最低20MBの空き容量
- 256 Color以上のグラフィックカード
- Windows98 SE/ME/2000/XP (NTはサポート不可)
- USBポート1.1規格以上
- CD-ROM
- サウンドカード、スピーカーまたはヘッドホン

JetShellのセットアップ

iAUDIOのセットアップCDをCD-ROMドライブに入れると、セットアッププログラムが自動的に実行されます。ご使用のパソコンの環境によっては自動的に実行が行なわれないことがあります。この場合はCD-ROM:\Setup.exeまたはCD-ROM:\JetShell\Setup.exeを実行してください。インストールが完了すると、Windows内に スタート → プログラム → COWON → iAUDIO 5 → JetShell の階層で登録されます。

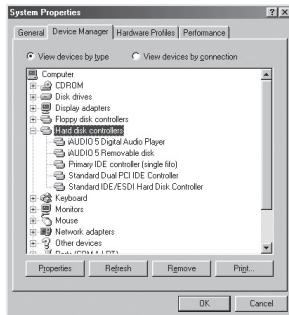
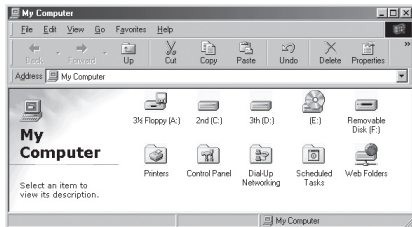
iAUDIOの接続

Windows ME/2000/XPの場合（98SEの場合はP49）

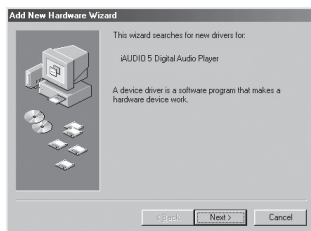
（98SEの場合はP49）

1. まずiAUDIO と PC を接続します。(このときJetShellは実行しないでください) USB ケーブルを使用して iAUDIOのUSB ポートとPCのUSBポートを双方接続します。（iAUDIO は USB ハブを経由せず、PC本体のUSB ポートに直接接続することを基準とします）

2. USBケーブルを接続すると、正常な Windows 環境ならば「新しいデバイスを検出しました」というメッセージとともに iAUDIO 5 USB ドライバーが自動でインストールされます。ご使用のWindows環境によって、ドライバインストール画面は画面上に表示されないこともあります。実際にインストールが完了されたかどうかを確認するためには、次のように（ XP Home Editionの場合）マイコンピュータの中に新しいローカルディスク（リムーバブルディスク）が追加（認識）されたか、またはコントロールパネル→システム→ハードウェア→デバイスマネージャで確認することができます。

3. 以上の手順が完了されると、JetSkellや Windows エクスプローラを使用して ファイルを転送することができます。

Windows98SEの場合

1. Windows98 SE以外のオペレーションシステム(OS)はP47をご参照ください。

2. 以降図で示したたE:\ドライブは、このマニュアルを作成する時のパソコン環境（例）です。、従って実際ご使用になるパソコンのドライブ名と置き換えてお読みください。

3. iAUDIOとパソコンのUSBケーブルをつなぎます。正常なWindowsの環境の場合、iAUDIO 5 Digital Audio Playerのデバイスを検出したというメッセージと共に次の画面が出力されます。次の画面が表示されたら「Next」ボタンをクリックします。

▼

4. 「Searcth for the best driver for your device」にチェックを入れて「Next」ボタンをクリックします。

▼

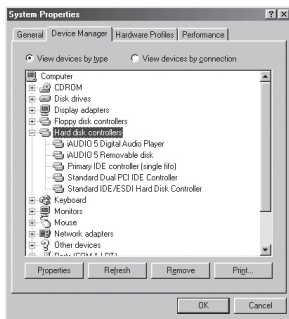
5. 「Specify a location」をチェックしてから「Browse」ボタンをクリックします。

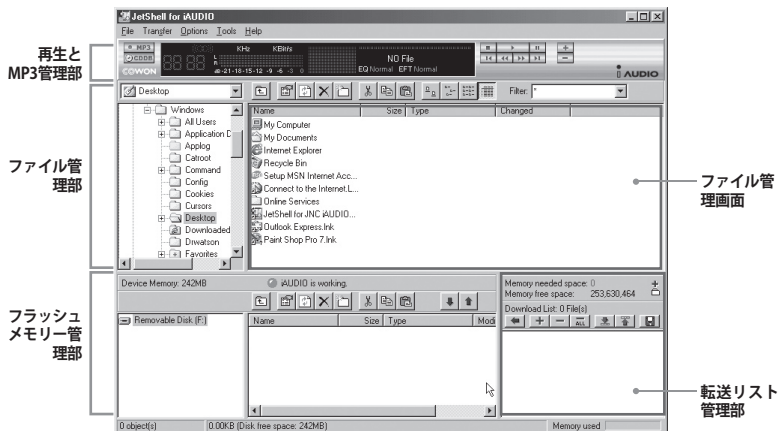
▼

6. 表示された「Browse」画面でiAUDIOのセットアップCDが入っているドライブの中の、「Win98」というフォルダを選択してから「Next」ボタンをクリックすると画面に「iAUDIO 5 Digital Audio Player」というモデル名が表示されます。この画面が表示されたら「Next」ボタンをクリックしてください。

▼

7. セットアップCDの中で必要なドライバファイルをコピーしてインストールが終了すると完了画面が表示されます。

▼

8. 正常にiAUDIO 5 のインストールが完了したかを確認するには、コントロールパネル → システム → デバイスマネージャ → ハードデスクコントローラーの下位デバイス → 「iAUDIO 5 Digital Audio Player」というデバイスが表示（認識）されていればインストールは正常です。

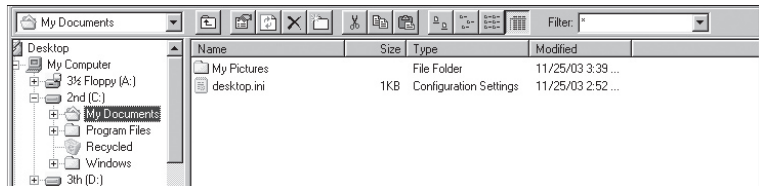
全体の構成

JetShellの起動中、iAUDIOドライブをコントロールするために、以下の場合には必ずJetShellを終了してからご使用ください。

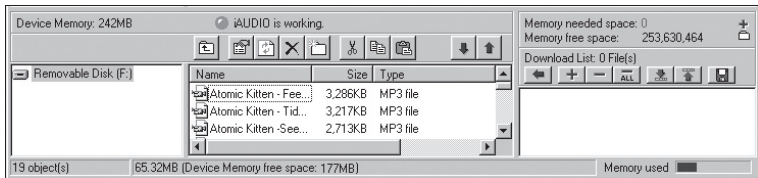
- USBドライブのインストール時
- Windowsエクスプローラでフォーマットする場合
- ファームウェアのアップグレードをする場合

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生

ファイル管理画面でMP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)をダブルクリックするか、上の図のようなコントロールパネルにファイルをドラッグ&ドロップをすると、すぐに該当ファイルの再生がスタートします。またファイルを多数選択してからPlay(プレイ)ボタンを押しても大丈夫です。中央の黒い画面に指定されたトラックの進行状態や曲名が左の方向に動きながら表示されます。

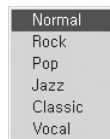
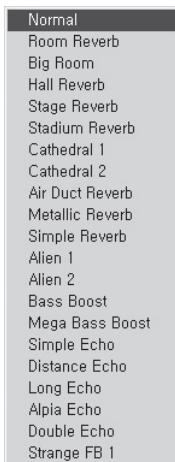
右側にある各ボタンによってファイル再生をスタート/停止させることができ＋と－ボタンを利用するとボリューム調節をすることができます。ポジションバーをクリックしてトラックの特定地点まで瞬間移動（スキップ）することもできます。

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生

JetShellのファイル管理部は、Windowsエクスプローラとほとんど同じです。左画面はツリー構造で、フォルダとデスク、CD-ROMを表示します。右側には該当するフォルダ内の詳しいファイルリストを表示します。

フラッシュメモリー管理

JetShellの下段部はiAUDIOのフラッシュメモリー管理部＋転送リスト部分です。
iAUDIOが正常に認識されていれば、図のように赤色の「iAUDIO is working」というランプとメッセージが表示されます。ユーザーがパソコンからiAUDIOに転送した各種ファイルは中央のウィンドウに表示されます。右の下段部の端に表示されている使用メモリーは、iAUDIO全体のフラッシュメモリーのうち使用されている量を意味します。例えば上の画面のように「Memory needed space 0」になっているとiAUDIO内には使用できる空き容量がないことを意味します。

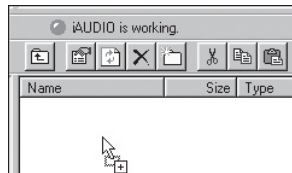
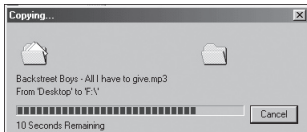
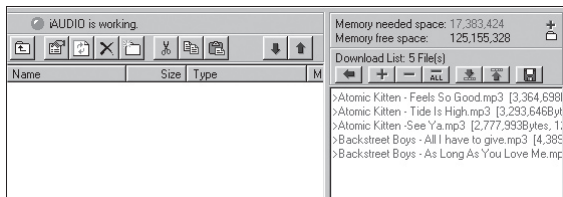
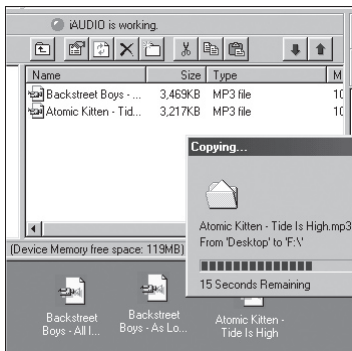
ボタン	機能	説明
	上位に	上位フォルダに移動します。
	プロパティ	該当ファイルのプロパティを確認します。
	新規更新	フラッシュメモリーの内容を新しく読んで表示します。
	削除	指定したファイルまたはフォルダを削除します。
	新しいフォルダ作成	新しいフォルダを作成します。
	切り取り	指定したファイルやフォルダを切り取ります。
	コピー	指定したファイルまたはフォルダをコピーします。
	貼り付け	切り取りまたはコピーしたファイルを貼り付けます。
	フラッシュメモリーに転送	指定したファイルまたはフォルダをパソコンからiAUDIOに転送します。
	パソコンに転送	指定したファイルまたはフォルダをiAUDIOからPCに転送します。

JetShellは視覚的に素晴らしいスペクトラムを表示します。スペクトラムが出る部分をマウスでクリックすると次のように画面が変わるのが確認できます。

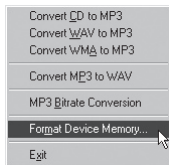
また次のような多彩なエコライザーとエフェクトをお楽しみいただけます。

様々なイコライザ

多彩なEffect設定

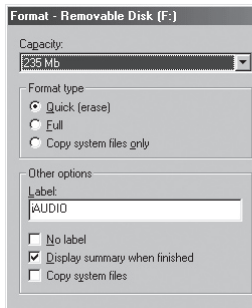
MP3ファイルをiAUDIOに転送する

1. オーディオファイルをiAUDIOに転送するのは非常に簡単です。上部のファイル管理部から転送しようとするファイルを選んで、下向きの矢印ボタンを押します。

2. またはWindowsエクスプローラの使用時と同様に、上側のファイル管理部から該当するファイルを選択して下側のウィンドウにドラッグ&ドロップします。

3. 転送中の画面です。転送中には絶対にUSBケーブルを抜かないでください

4. または以下の図のように転送リスト画面にあらかじめ登録してから転送する方法もあります。それぞれ違うフォルダにあるファイルを＋ボタンで登録しておいて、一括転送する場合に便利です。

5. JetShellの外部にあるファイルをマウスでドラッグしてフラッシュメモリーのウィンドウに持っていくことでも転送することができます。

iAUDIO内のファイルを削除する

iAUDIO内に入っているファイルを削除するのは、Windowsエクスプローラでファイルを削除する方法と同じです。削除したいファイルを選択後、✕ ボタンを押すと「フラッシュメモリーから削除」の確認メッセージが表示されます。削除を実行する場合は「OK」を選択します。

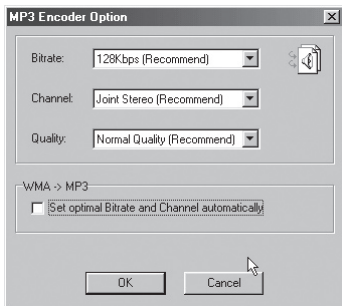
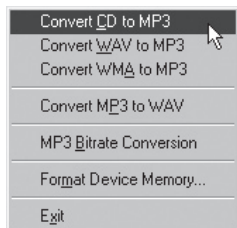
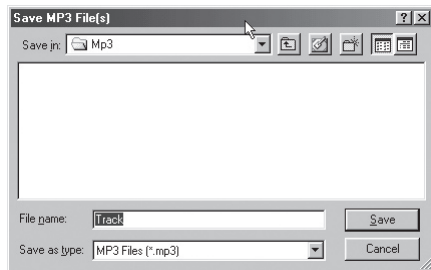
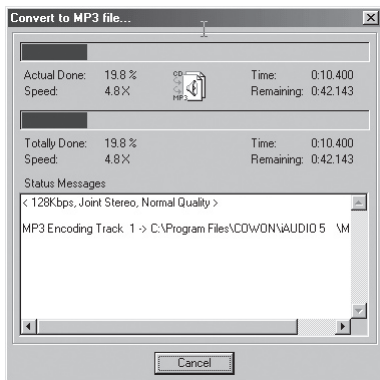
フラッシュメモリを初期化するには(フォーマット)

ハードディスクをフォーマットするように iAUDIO もフォーマットすることができます。但し、フォーマットをする場合、メモリの中に入っている全てのデータが消失してしまうので、十分ご注意ください。

1. JetShellのFileメニュー「Format Device Memory」をクリックします。

2. フォーマットウィンドウが表示されます。ここで FATまたはFAT32を選択します。もしNTFSを選択してフォーマットした場合、iAUDIOは単純なUSB保存メディアとしてのみ認識され、MP3 Playerとしては正常に動作しません。したがって、必ず FATまたはFAT32 でフォーマットをしてください。

フォーマット後、JetShellでデバイスを検索できない場合にはUSBケーブルを一度抜いてiAUDIOの電源をオンにして動作させた後、もう一度接続してください。

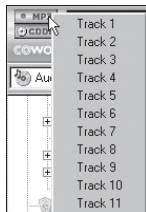
オーディオCDトラックをMP3ファイルに変換と同時にiAUDIOにダイレクト転送

JetShellを使用すると自分のオーディオCDをMP3に簡単に変換して、iAUDIOに転送することができます。MP3変換時、WAVを経ずにオーディオCDトラックをデジタル方式で直にMP3に保存しますので非常に効率的です。

1. 作業する前に生成するMP3ファイルの品質をあらかじめ設定する必要があります。「Option – MP3 Encoder Option」メニューをクリックし、希望するMP3ファイルのBitrate（転送率）を 指定します。(Bitrateが高いほど高音質で圧縮されますが、ファイルサイズは大きくなります)

2. ファイル管理部でオーディオCDが入っているCD-ROMドライブを選択してから、右側のウィンドウに表示されているオーディオトラックを選択した後に [MP3] をクリックするか、Fileメニューの「Convert CD to MP3」をクリックします。

3. MP3ファイルをどのフォルダに保存するを指定します。
この時、iAUDIO(リムーバブルディスク)内の保存したいフォルダを指定します。

4. MP3変換とiAUDIOにダイレクト転送作業中の画面です。

1. Enhanced CDのリッピング

一部のエンハンスドCDの場合、オーディオCDを選択してもトラックファイルを直接選択することができません。こうした場合は次の図のように、MP3 ボタンで、マウスの右ボタンをクリックして希望するトラックを選択してからMP3ファイルに変換することができます。但し、不法複製防止技術が適用された一部のオーディオCDの場合、このような方法でもリッピングできないことがあります。

エンハンスドCD (enhanced CD)とは?

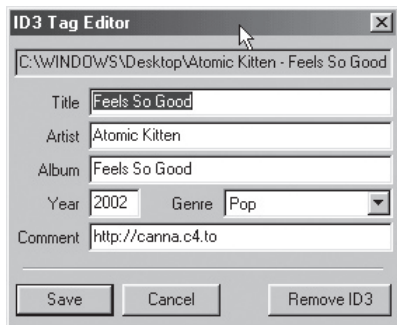
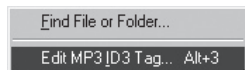
オーディオCD内にパソコン用動画やデータが入っているCDです。

マウスの右ボタンをクリックするとトラックが表示されます。

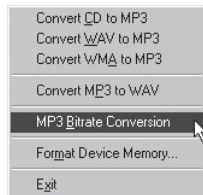
2. CDDB接続機能

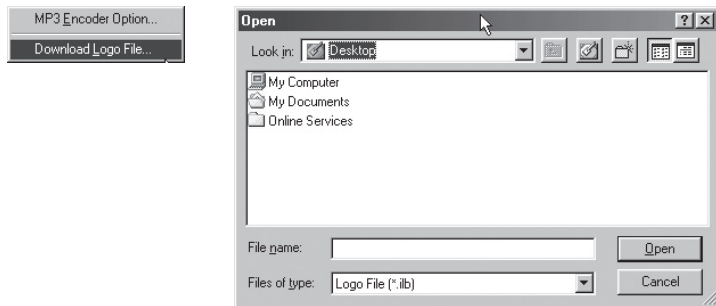
CDDB ボタンを押すと、アーチスト、曲タイトルなどのCD情報をインターネットを通じて持ってくることができます。CDDBを利用するには、インターネット接続が可能な状態でなければならず、またご使用の環境によりネットワークの状態やプロキシサーバの状態によって接続されないこともあります。

CDDBから取り込んだCDテキスト情報のうち、正しくないデータを取り込むと、ご使用のパソコンで(日本語を含む)文字化けすることがあります。これはJetShellのエラーではなく、該当CDDB内に保存されているテキスト情報（フォント等）のエラーです。

3. ID3 タグ編集機能

JetShellのToolメニューの「Edit　MP3　ID3　Tag」機能を使用すると、希望するMP3ファイルのID3タグ情報を変更することができます。

4. MP3ファイルのBitrate（転送率）を変換する

JetShellのFileメニュー「MP3　Bitrate　Conversion」を使用すると、選択したMP3ファイルのBitrateを変更することができます。

5. ロゴファイル転送機能

ロゴファイル転送機能は、iAUDIO起動時（電源オン）に表示されるロゴ画面を変える機能です。希望するロゴを選択してから、Openボタンを押せばログが自動的に転送されて適用されます。

JetAudioのセットアップと使用

iAUDIOのセットアップCDの中には、世界的に有名なマルチメディア統合再生プログラムであるJetAudioが含まれています。このJetAudioをインストールするには「CD-ROM:\JetAudio\setup.exe」ファイルを実行してください。JetAudioについての詳しい使い方はインストール後に生成するJetAudioヘルプを参考にするか、Http://www.JetAudio.comのサイトのQAの掲示板でお問い合わせください。

ファームウェアアップグレードについて

A. ファームウェア(Firmware)とは?

ファームウェアとはハードウェアに内蔵されているプログラムで、ハードウェアの様々な機能を制御しています。ファームウェアのアップグレードによって製品の機能を向上させたりバグを修正することができます。

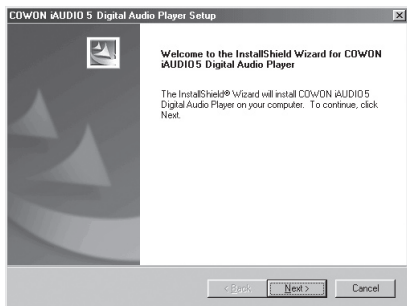
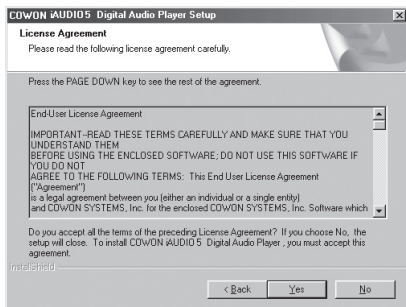
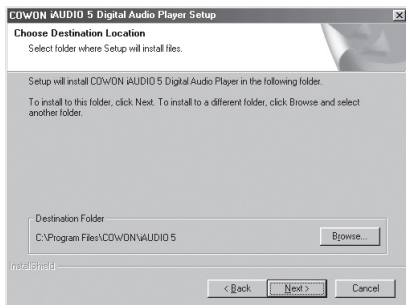
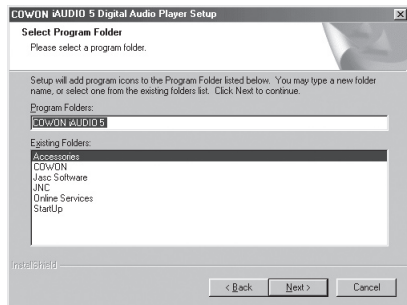
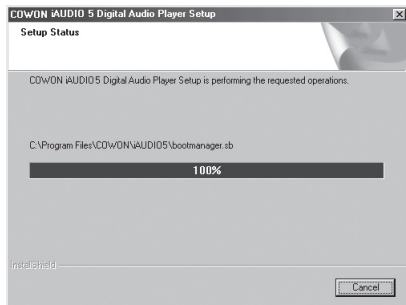
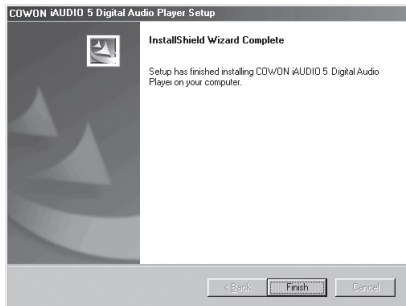
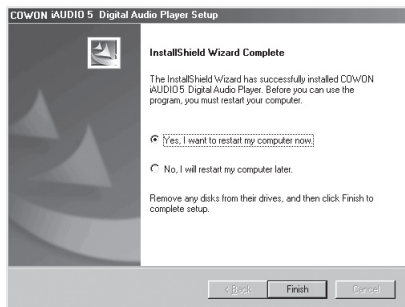
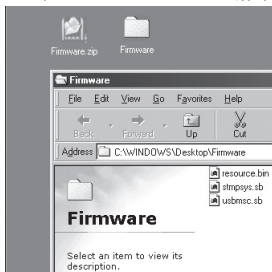
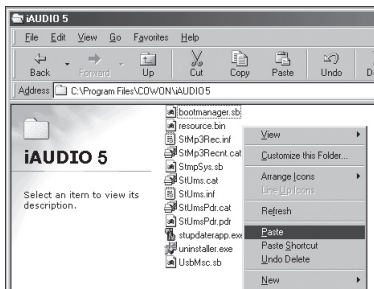
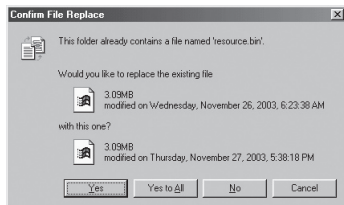
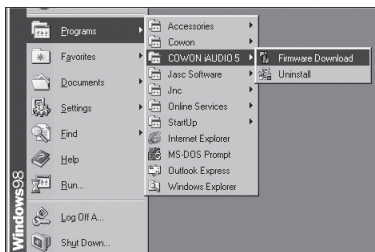
B. ファームウェアによる法的限界および責任公示

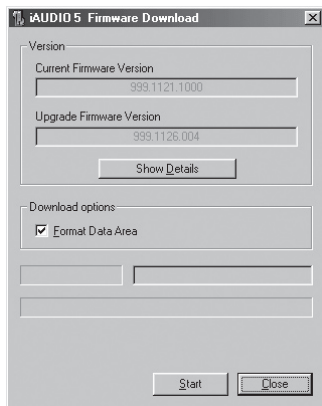
- iAUDIO 5は製造元でサポートする正式またはベータバージョンのファームウェアのアップグレードサービスにより、性能およびメニュー構成が予告なく変更することがあります。
- ファームウェアアップグレード時には、フラッシュメモリー内に保存されている全てのデータが削除されます。そのためiAUDIO 5 に保存されている各種MP3ファイルや重要なVoice録音ファイルは、必ずご使用になるご自身がパソコンにバックアップしなければなりません。
- 全てのファームウェアのアップグレードは、結果的に全体的な性能の向上を目的とし、当社の裁量で、非定期的にアップグレードを提供します。
- 開発ロードマップ上に含まれている一部のベータ版のファームウェアには、正式版ファームウェアで修正される予定の問題で多少誤動作が起こることがあります。このような可能性についてはWEBなどを通じてあらかじめお知らせします。

C. ファームウェアアップグレードをするための条件

- iAUDIO 5 のファームウェアアップグレードをするためには、WindowsのOSのUMS機能が正常に動作する基本環境が必要です。
- Windows98SE/ME/XPでは、マイコンピュータの中のiAUDIOという名前で確認することができます。Windows2000ではiAUDIOという文字ではなく「リムーバブルディスク」と表示されることがあります。
- このようにiAUDIOまたはリムーバブルディスクと正常に表示されなければ、ファームウェアのアップグレードができません。このような場合、パソコンのCMOSでUSBデバイスの設定が適切であるかを再確認するか、Windowsの再インストールまたはパソコンのUSBポートを点検されることをお勧めします。

D. ファームウェアのダウンロードとセットアップ

- 最新のファームウェアはwww.cowonjapan.comより無料ダウンロードできます。
- iAUDIO 5 のファームウェアをアップグレードをするためには、ファームウェアのアップグレード用プログラムとファームウェアのデータファイルがなければなりません。尚、この二つの種類のプログラムは別々に提供されます。アップデート方法については次の手順を参考にしてください。
  ① まず最初にファームウェアのアップグレード用プログラムをインストールしなければなりません。ダウンロードしたファイルを解凍して、ファイル中のsetup.exeまたはsetupファイルを実行すると次の画面が表示されます。

② 使用権契約の条項を確認してから、インストールを進めるには[Next(次へ)]ボタンをクリックしてインストールを実行してください。

③ インストール先のパスとフォルダを指定します。

④ プログラムグループ名を指定します。

⑤ ファイルのコピーが進行します。

⑥ インストールが完了しました。「Finish」をクリックして終了して下さい。

⑦ Windowsの種類と状態によって、以下の図のように再起動をするかどうかを選択する画面が表示されます。もし該当メッセージが表示されたら再起動してください。

⑧ ファームウェアのアップグレードプログラムのインストールを終えてから、ダウンロードのファームウェアデータファイルを解凍してください。ファームウェアのデータは www.cowonjapan.com からダウンロードできます。Zipファイル形式で提供されるので、ダウンロードしてから解凍してください。

⑨ 解凍したファイルをC:\program files\cowon\iAUDIO 5フォルダ内にコピーしてください。

⑩ 場合によっては、次の図のように「このフォルダにコピーしようとしているファイルは既に存在します」という案内メッセージが表示されることがあります。ですが、無視して該当フォルダに上書きコピーまたは移動させてください。

⑪ コピーが終わったら、次にファームウェアのアップグレードプログラムを実行します。スタート → プログラム → COWON → iAUDIO 5 Firmware → Firmware Downloadを実行します。

⑫ <注意> ファームウェアのアップグレード時、「Download option の Format Data Aria」に チェックすると、フラッシュメモリーの中に保存されている全てのデータが削除されます。従ってiAUDIO 5に保存されている各種MP3ファイルや重要な録音MP3ファイルは必ず、ご使用のユーザーご自身がパソコンにバックアップしてください。また、ファームウェアのアップグレード中にUSBケーブルを取り外すと、機器の故障またはその他様々な誤動作が発生することがありますのでご注意ください。

⑬「Start」ボタンを押すと、ファームウェアのアップグレードが実行されます。

本製品の無償保証期間はご購入日から1年間です。お客様の正常な使用状態のもとで万一故障した場合、本保証規定に従い故障箇所の修理をさせていただきますので、購入された販売店に保証書を添えてお申し込みくださるか、弊社サポートセンター宛までご連絡ください。尚、保証期間内においても下記の場合は有償修理となりますのでご注意ください。 また、弊社の保証は日本国内で使用された場合のみ有効です。

1. ユーザー登録されていない場合、またはユーザー登録の記入内容と保証書の内容が一致しない場合
2. 保証書の掲示がない場合
3. 保証書に購入販売店の記名および押印がされていない場合
4. 保証書の所定事項に未記入箇所がある場合
5. 保証書を弊社および、購入販売店の了承を得ることなく訂正した場合
6.お客様による輸送・移動・設置時の落下・衝撃等、お取り扱いが適正でないために生じた事故・損傷の場合
7. 落雷・火災・地震・水害等の天変地異および、異常電圧による故障・損羞悪の場合
8. 本製品に接続している機器が原因で発生した故障・損傷の場合
9. 本製品同梱のマニュアル等に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じ た故障の場合
10. 異常過電圧、お客様による改造等で生じた故障・損傷の場合
11. ファームウェア更新の失敗等による故障の場合

【責任の範囲について】
本製品の故障および不具合による接続機器の故障・システムデータの消失・遺失利益・その他のあらゆる損害等について、弊社はその責任を一切負いません。 これらは使用者の責任においてご使用することとします。
また、故障品・不具合品の返送にあったって、製品が使用できない期間、及びそれらに関する人件費、再セットアップ費等の補償についても、弊社はその責任を一切負いません。 ご了承ください。

【修理対応についてのご注意】

1. 製品が故障した場合は、必ず購入された販売店に保証書を添えてお申し込みくださるか、弊社サポー
トセンター宛に必ず「事前連絡の上」ご返送ください。

2. 修理依頼品を返送される際に保証期間内であることを確認するために、保証書や領収書のコピーの同
封をお願いします。

3. 製品が故障した場合に弊社技術サポート部に返送または修理中、いかなる場合においても代替品はお
送りいたしません。

4. 製品返送の際、特に弊社より指定がない場合は全ての付属品を同梱の上、輸送中製品がダメージを受
けないように、必ず箱などにきちんと梱包してご返送ください。 尚、適切な梱包がされていない製品を返送されますと、場合により受け取りを拒否する場合がございますのでご注意ください。

※ 弊社の保証は日本国内においてのみ有効です

This Warranty is valid only in Japan.

株式会社　コウォンジャパン サポートセンター
住所：〒113-0033東京都文京区本郷3-2-3TIKビル5階
サポートセンター：03-5805-6054(土日、
祝祭日を除く10：00~12：00、13：00~17：00）
ホームページ：www.cowonjapan.com